

事業所における自己評価結果表

公表： 2023年 10月
事業所名 児童発達支援 マルコ

6名対象 回収率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		
	2	職員の配置数は適切であるか	6		・利用人数によって職員の人数は、基準は満たしているが、個別的な支援の充実、プログラムの内容によっては職員を増やすなど対応していきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		・トイレや更衣室が不便なつくりになっているが、工夫しながらやりくりしている。 ・トイレが男女同じ場所なので、カーテンで仕切りをしたり、使用が終わるまで職員がつくようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		・活動時は広いスペースの確保に努めているが、一部屋にトランポリン・ホーススウィングの動く活動コーナーが常にある為、静かにじっくり遊べる環境が整えない。 ・毎日掃除・消毒を行い感染防止対策は行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3	・ミーティングを重ねているが、支援の軸が定まっていない。一貫性のある支援をしていく為に、それぞれが責任を持ち業務にあたる必要性を感じる。 ・職員全体が会議等に参加出来るよう、時間帯・申し送りをこまめに行うなど考慮し行っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・頂いたご意見等を参考に業務の内容の検討・見直しを行っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		・年に1回、法人のホームページに結果を掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		・コロナ禍で、外部の研修は少ないが、事業所内で勉強会を開催している。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	3	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	

支援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	・チーム全体で集まったの立案は難しい(時差出勤の為)が、方向性等統一した支援を行っていくよう、立案する際は、もっと意見を出し合える工夫していきたい。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	・季節や行事に合わせた活動・曜日によりご利用者が異なるため、活動が重ならないように工夫している。 ・子どもの様子をよく観察し、評価しながら振り返り、次回に繋げていけるよう職員間でもっと意見を言い合えるようにしていきたい	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	3	・活動は、曜日によっては児童数が異なり、集団活動が出来ない日もあるが、長期休暇等では子どもの状況や目標に合わせて、集団活動と個別活動を組み合わせるようにしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	・時差出勤があるので、ボードにその日の流れやノートに申し送り事項を記載し確認できるようにしている。 ・必要に応じミーティングを行い、支援内容や役割分担等を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	・支援終了後に必ずしも打ち合わせや振り返り等は行えていないが、必要な情報は職員で連絡ノート等に記載したり、情報の共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・個別の記録はあるが、保育・療育の時間の中から見えてくる反省・気付き等は記録し、次の立案に役立てるようにしていく必要がある。	
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・半年に1回は見直しを行っている。毎月支援会議を開催し計画を検討している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・必要があれば情報提供等行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・必要があれば情報提供等行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・電話や聞き取りで話をする際に、困り等について助言等を頂くことあり。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3		・感染拡大を防ぐために交流の機会を持ってない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時に自宅での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えるようにしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	5		・ペアレント・トレーニングは出来ていない。研修等があれば参加し、支援にと繋げていきたい。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6				

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	・必要な助言と支援のためのスキル向上を図っていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	・年に1回保護者会を開催しているが、参加者も少なく、保護者会の内容等、今後は見直し検討していく必要あり。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	・毎月マルコ新聞を発行し、子どもたちの様子や連絡等発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	・感染拡大の面から、今現在行事（餅つき等）はすべて中止・見合わせ中である。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	・訓練は行っているが、緊張感のなさが気になります。実際に起こった時に、誰もが責任を持ち誘導できるよう細かく決める必要がある。（緊急時の持ち物をまとめておく⇒救急セット・待機時用マット等）
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	・定期的に実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	・服薬やてんかん発作等、契約時に確認をしている。お迎えの際などに予防接種等の申し送りを受けることがある。受け終わった際は状況の確認をいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	・アレルギー等に関して契約時に確認しているが、現時点では医師の指示書に基づく対応が必要なお子さんがいない。おやつ作りの際はその都度保護者に確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	・ヒヤリハットや事故報告書の作成や共有は行っている。今後は事例検討等も行っていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	・年に1回虐待防止についての会議・研修を開催している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	・身体拘束を必要とする子どもはいないが、対象とする子どもの利用がある場合は、事前の確認や説明等行っていく。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。